

1. 目標

【現状】

- 都市内において、安全・安心な道路空間整備や良好な景観の形成のため無電柱化が求められている。
- 近年多発する自然災害により、電柱が倒壊する危険性があり、都市内の緊急輸送道路など重要な路線での無電柱化が求められている。



(都)旅籠町八日町線

【目標】

- 都市内の道路を無電柱化することにより、災害時における道路の信頼性の向上を図る。
- 観光地道路を無電柱化することにより、景観の向上を図る。

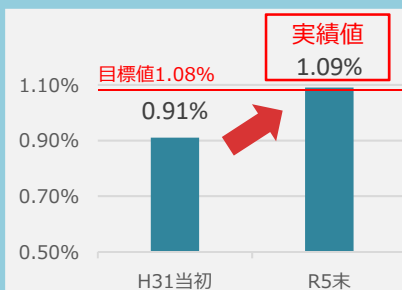
	定量的指標	H31当初	R5末
指標1	県管理道路の電線共同溝整備率を向上させる。	0.91%	1.08%
指標2	DID地区における都市計画道路（山形市）の電線共同溝整備率を向上させる。	12.9%	13.3%
指標3	DID地区における緊急輸送道路（鶴岡市道）の電線共同溝整備率を向上させる。	15.9%	21.7%

2. 事業の内容

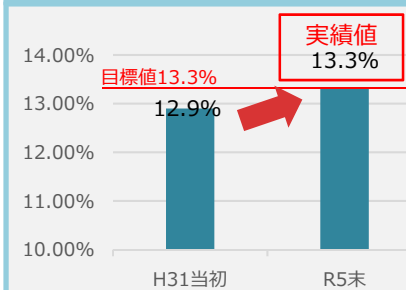
- 事業の期間：平成31年度～令和5年度
- 事業の主な内容：無電柱化、現道拡幅等
- 事業実施主体：山形県、山形市、鶴岡市
- 事業箇所数：8箇所
- 全体事業費：6,807百万円

3. 事業による成果

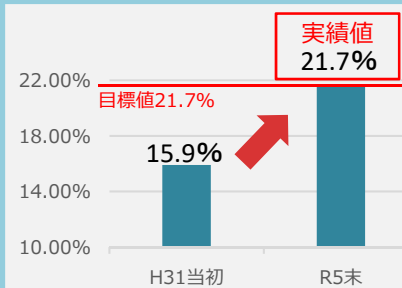
指標1：県管理道路電線共同溝整備率



指標2：山形市電線共同溝整備率



指標3：鶴岡市道電線共同溝整備率



- 指標1：県管理道路において、0.7kmの電線共同溝を整備し、目標を達成した。
- 指標2：都市計画道路（山形市内）において、0.6kmの電線共同溝を整備し、目標を達成した。
- 指標3：緊急輸送道路（鶴岡市道）において、0.3kmの電線共同溝を整備し、目標を達成した。

4. 評価と今後の対応

いずれの指標においても、電線共同溝整備率の目標値を達成し、都市内における無電柱化の推進に寄与した。

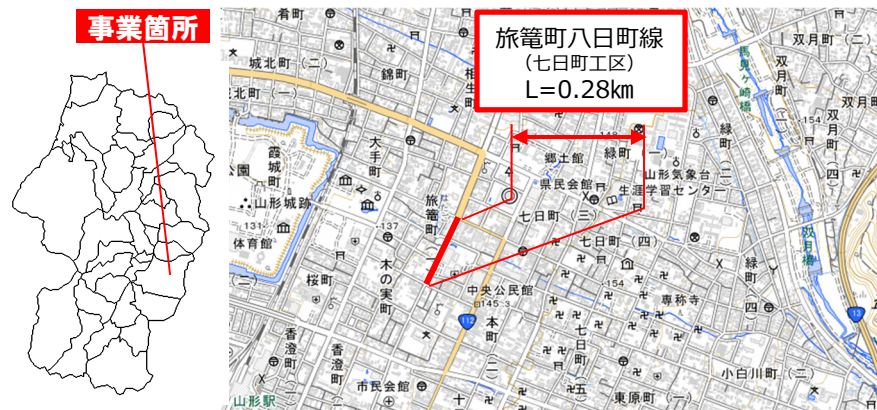
今後について、限られた予算のなかで早期整備効果が発現できるよう、緊急輸送道路等の防災上重要な路線を優先的に整備し、さらなる無電柱化の推進に努める。なお、次期計画については、国の個別補助事業を活用し、無電柱化を実施していく。

5. 整備効果事例

【事例①】街路事業

旅籠町八日町線(七日町工区)

事業主体：山形県
事業箇所：鶴岡市神明町地内
事業内容：無電柱化、4車線化



無電柱化および4車線化により、一方通行の解除や十分な歩道・車道幅員が確保され、安全で円滑な交通が確保された。本路線は第一次緊急輸送道路に指定されており、当該路線の無電柱化の実施により、都市防災機能の強化に寄与した。
(R2年度事業完了箇所)

【事例②】街路事業

四日町日月山線

事業主体：山形市
事業箇所：山形市薬師町地内
事業内容：無電柱化、現道拡幅



無電柱化および現道拡幅により、十分な歩道・車道幅員が確保され、安全で円滑な交通が確保された。また、都市内の無電柱化により、電柱倒壊を防止し、避難路の確保など都市防災機能の強化に寄与した。

(R5年度事業完了箇所)